



(写真) Shutterstock “マドゥロ大統領 「 MARIA・コリーナ・マチャド氏はベネズエラを去った」 ”

2024年10月14日(月曜)

政治

- 「マドゥロ大統領 軍部高官の人事変更を発表
～陸軍・海軍・空軍などの最高幹部が交代～」
- 「検事総長 ルラ大統領に対する発言が波紋呼ぶ
～マドゥロ政権 検事総長の個人的な意見～」
- 「ボルヘス氏 カプリレス元知事の批判に反論
～彼らはロサレス知事の統一候補案を支持～」
- 「検察 Ya Casi Venezuela 寄付者リストを保有」
- 「マドゥロ政権 25年度予算案を国会に提出」

経済

- 「OPEC 9月の産油量は日量87.7万バレル」

2024年10月15日(火曜)

政治

- 「マドゥロ大統領 MCMは国を去った
～MCM マドゥロ大統領の指摘に反論なし～」
- 「アモロソ CNE代表 拘束の噂流れる
～報道後にアモロソ代表テレビに登場～」
- 「野党 米州機構で大統領選の勝利を主張」
- 「国連調査団 人道に対する罪の可能性を指摘」

経済

- 「ConocoPhillips 他の債権者への対抗訴訟
～自社の債権回収優先権を主張～」
- 「TOYOTA エアバック交換 抽選で新車当選」

2024年10月14日(月曜)

政治

「マドゥロ大統領 軍部高官の人事変更を発表
～陸軍・海軍・空軍などの最高幹部が交代～」

10月14日 マドゥロ大統領は、軍の昇格式に出席。軍高官の人事変更を発表した。

軍の中で最高役職である国防相については、パドリーノ・ロペス国防相が留任。パドリーノ・ロペス氏は、2014年10月から国防相に就いており、10年以上軍の最高役職を続けることになる。

また、「国軍戦略オペレーション指令室 (CoeFanb)」の司令室長についてもドミンゴ・エルナンデス・ラレス氏が留任した。

他、「ボリバル国家防衛隊」の総司令官についても Elío Estrada Paredes 氏が留任した。

交替したのは、陸軍・海軍・空軍・民兵隊のトップ。

陸軍総司令官は、Johan Hernández Lárez 氏に交代。



(写真) 大統領府

海軍総督は、Ashraf Hadi Suleimán Gutiérrez 氏に交代。



空軍総司令官は、Lenín Ramírez 氏に交代。



民営隊総司令官は、Orlando Romero 氏に交代した。

国軍諜報局 (Dgcim) 局長は、Javier Tábata 氏に交代。

公安部 (Sebin) 長官は、Alexis Rodríguez Cabello 氏に交代した。

なお、Johan Hernández Lárez 新陸軍総司令官と Estrada Paredes 国家防衛隊総司令官は、9月12日に米国政府から個人制裁を科された人物である。

「検事総長 ルラ大統領に対する発言が波紋呼ぶ ～マドゥロ政権 検事総長の個人的な意見～」

タレク・ウィリアム・サアブ検事総長の発言が政権内で波紋を呼んでいる。

10月13日 サアブ検事総長は「Globovision」のインタビュー番組に出演。その中で、ブラジルのルラ大統領とチリのボリック大統領について「CIAのエージェント」と批判するコメントをした。

ボリック政権とマドゥロ政権の関係が極めて悪いことは周知の事実だが、ルラ政権とマドゥロ政権は一定の関係を維持しており、ルラ大統領を「CIAのエージェント」と非難した発言はマドゥロ政権内で波紋を呼んでいる。

実際のインタビューでは

「米国と CIA ラテンアメリカ支部は、2人のエージェントを抱えている」と発言し、チリのボリック大統領とブラジルのルラ大統領について言及。

ルラ大統領について「彼は汚職で逮捕され、1年後に釈放され、選挙に出ている」「刑務所から出てきたルラ大統領は刑務所に入る前のルラ大統領とは違う」「ベネズエラの問題に介入しており、自分たちをベネズエラの選挙当局だと考えている」との見解を示した。

この発言を受けて、マドゥロ政権のイバン・ヒル外相は声明を発表。

「ベネズエラ外務省は、国際社会・特にブラジル連邦に対して、昨今の検事総長によるルラ大統領に対する発言について見解を表明する」「検事総長の発言は、彼の個人的な見解であり、ベネズエラ政府の外交政策を反映したものではない」とした。



(写真) イバン・ヒル外相 Telegram

また、サアブ検事総長も自身の発言について釈明。

「テレビでのルラ大統領に対する私の発言について、私の発言意図を歪めるような報道が外国メディアで拡散されており、本件について以下の通り表明する」

「この発言は個人的な発言であり、当該政府(ルラ政権)と通常のコミュニケーションを取っている国家行政の認識とは無関係である」

と発表した。

なお、筆者の知る限り、サアブ検事総長の発言を受けて、ブラジル政府側から何らかのコメントは確認できていない。

「ボルヘス氏 カプリレス元知事の批判に反論 ～彼らはロサレス知事の統一候補案を支持～」

「第一正義党 (PJ)」のエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事は PJ 幹部からの離任を表明している。

カプリレス元知事の離任表明を受けて、カプリレス元知事のグループに属する党員がフリオ・ボルヘス幹事長に対する批判を強めており、党内の分裂が鮮明になっている ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1128」](#))。

10月14日 ボルヘス氏は、「La Patilla」のインタビューにて、これらの批判に反論。

自身を批判するグループに対して、「7月28日の大統領選での勝利に終止符を打ち、2025年の国会議員選について検討を始めている」と批判。「大統領選の結果を現実にしよとしない者は、ベネズエラ国民の民意を裏切っている」との見解を示した。

また、PJ 内の方針の違いは数年前から存在しており、大統領選について、「マリア・コロナ・マチャド氏 (以下、MCM) を推薦するグループとマニュエル・ロサレス氏 (新時代党の党首で現スリア州知事) を推薦するグループで分かれていた」と指摘。

「ロサレス氏を支持するグループは、予備選挙 (野党統一候補を決めるための野党内での選挙) を実施することなく、ロサレス氏を統一候補にすることを考えていた」と述べ、「彼らは MCM の応援には参加しなかった」と訴えた。

また、ボルヘス氏自身への個人攻撃について

「我々の党員が独裁者と同じようなやり方をしていることを懸念している」「彼らにとっては全ての人を犯罪者として扱っている」と反論した。

「検察 Ya Casi Venezuela 寄付者リストを保有」

タレク・ウィリアム・サブ検事総長は、反政府系の過激派勢力「Ya Casi Venezuela」という団体の動きに警戒しており、同団体の捜査を行っている ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1120」](#))。

「Ya Casi Venezuela」は、「ベネズエラで政権交代を達成するため」との名目で積極的に寄付を募っており、同団体の前面に立っているプロモーターは、米国の民間軍事会社「Blackwater」の創始者であるエリック・プリンス氏。

彼以外にグアイド暫定政権下で国家安全保障問題を担当したイバン・シモノビス氏の名前も挙がっている。

サブ検事総長は、「Ya Casi Venezuela」の活動について、「法律の枠外で活動をしており、この団体に寄付する行為は、マネーロンダリングに加担したことになる」「彼らの行おうとしている行為は民兵の雇用であり、寄付者はベネズエラに民兵を送ろうとしていることになる」と指摘。

「検察庁は既に同団体に寄付した人々に関するとても長いリストを持っている」とコメントした。

「マドゥロ政権 25年度予算案を国会に提出」

10月14日 マドゥロ政権のネルソン・メネンデス企画相は、与党国会に2025年の国家予算案を提出した。

ベネズエラ憲法では、次年度の国家予算を10月中旬までに国会に提出することが定められている。

そして、国会は12月末までに同予算案を審議し、可決することで、次年度の予算が確保されることになる。

実際のところ、ベネズエラでは国会への予算案提出はセレモニー化しており、国会では予算案について審議されることなく、12月中に特段の修正なく可決されるのが恒例となっている。

また、以前は国家予算案を提出した段階で、国家予算案の総額はいくらで、どの省にいくら予算が組まれているか、などある程度の概要が公表されていたが、現在は予算案の総額を含めて一切の情報が開示されない。

そのため、「10月の予算案提出の時点では白紙の紙を国会に提出しているのではないか」との憶測もある。

経 済

「OPEC 9月の産油量は日量87.7万バレル」

OPEC は、加盟国の24年9月の産油量を更新した。

OPEC の公表(第三者の専門家)によると、9月のベネズエラの産油量は日量87.7万バレル。先月の日量87.5万バレルから日量3000バレル(先月の産油量から引き算すると数字が合わないが、四捨五入が原因と思われる)増えた。

Table 5-7: DoC crude oil production based on secondary sources, tb/d

Secondary sources	2022	2023	1Q24	2Q24	3Q24	Jul 24	Aug 24	Sep 24	Change Sep/Aug
Algeria	1,013	973	907	904	909	908	910	909	0
Congo	261	261	246	262	257	252	264	254	-11
Equatorial Guinea	84	56	54	56	58	57	57	60	3
Gabon	195	204	215	210	213	210	217	211	-6
IR Iran	2,554	2,859	3,179	3,238	3,300	3,289	3,295	3,316	21
Iraq	4,439	4,289	4,265	4,234	4,235	4,324	4,267	4,112	-155
Kuwait	2,704	2,595	2,430	2,429	2,421	2,415	2,418	2,430	13
Libya	981	1,162	1,119	1,189	894	1,180	950	540	-410
Nigeria	1,210	1,315	1,413	1,366	1,415	1,401	1,438	1,405	-33
Saudi Arabia	10,531	9,609	9,000	8,965	8,984	8,987	8,994	8,971	-23
UAE	3,066	2,950	2,926	2,934	2,959	2,953	2,964	2,958	-6
Venezuela	684	749	816	838	871	863	875	877	3
Total OPEC	27,722	27,021	26,570	26,624	26,515	26,838	26,648	26,044	-604

また、ベネズエラ石油省が OPEC に報告した9月の産油量は、日量94.3万バレル。先月の日量92.7万バレルから日量1.6万バレル増えたことになる。

Table 5-8: OPEC crude oil production based on direct communication, tb/d

Direct communication	2022	2023	1Q24	2Q24	3Q24	Jul 24	Aug 24	Sep 24	Change Sep/Aug
Algeria	1,020	973	907	905	909	909	910	908	-2
Congo	262	271	252	260	264	257	270	265	-6
Equatorial Guinea	81	55	53	60	..	57	..	52	..
Gabon	191	223
IR Iran
Iraq	4,453	4,118	3,957	3,862	3,897	3,993	3,904	3,792	-112
Kuwait	2,707	2,590	2,413	2,413	2,413	2,413	2,413	2,413	0
Libya	..	1,189	1,149
Nigeria	1,138	1,187	1,327	1,270	1,328	1,307	1,352	1,324	-27
Saudi Arabia	10,591	9,606	8,979	8,937	8,970	8,941	8,992	8,975	-17
UAE	3,064	2,944	2,919	2,928	2,933	2,933	2,935	2,931	-4
Venezuela	716	783	864	904	933	928	927	943	16
Total OPEC	..								

Notes: .. Not available. Totals may not add up due to independent rounding.
Source: OPEC.

(写真) OPEC

2024年10月15日(火曜)

政 治

「マドゥロ大統領 MCM は国を去った

～MCM マドゥロ大統領の指摘に反論なし～」

10月14日夜 国営報道局 VTV は、マドゥロ大統領の演説を報道。演説の中でマドゥロ大統領はマリア・コリナ・マチャド氏(MCM)について、

「彼女は国から逃げた」「誰にも言っていないが、彼女は国にいない」「私の情報ルートからも彼女が逃げたと聞いている」「奴らは臆病者だ」「彼女は Gucci のスーツケースをもって国を去った」と述べ、「MCM 氏は既にベネズエラから出ている」との見解を示した。

なお、現時点で MCM 氏はこの発言について、否定も肯定もしていない。仮に事実であれば、ベネズエラ野党に大きな激震が走るだろう。



(写真) VTV

なお、ゴンサレス候補がスペインに亡命した後、MCM氏は「自身はベネズエラに残り、政治活動を継続する」とコメントしていた。

しかし、ゴンサレス候補が亡命する直前にも、ゴンサレス候補の弁護士が「ゴンサレス候補は亡命を検討していない」とコメントしており、MCM氏についても必ずしも発言と行動が一致しない可能性はあるだろう。

「アモロソ CNE 代表 拘束の噂流れる

～報道後にアモロソ代表テレビに登場～

米国メディア「El Miami Herald」は、「選挙管理委員会(CNE)」のエルビス・アモロソ代表がマドゥロ政権に逮捕されている可能性について報じた。

アモロソ代表は、8月5日に最高裁に選挙資料を提出した日を最後にメディアに登場しなくなっており、既に2カ月以上が経過している。

米国ワシントンに拠点を置くシンクタンク「Inter American Trends」の Antonio de la Cruz 代表は、アモロソ代表がメディアから姿を消した理由について、「アモロソ代表が国外に脱出しようとしたが、逮捕された可能性がある」と指摘。

「仮に選挙当局のトップであるアモロソ代表が、選挙結果を否定したのであれば、マドゥロ政権にとって甚大な被害が出る」と指摘した。

しかし、この報道の翌日、アモロソ代表は軍部の昇格式に出席し、マドゥロ大統領と仲良く談笑する姿が報じられた。

また、マドゥロ大統領は

「選挙権力のトップであるアモロソ CNE 代表に挨拶する」「彼は名誉棄損攻撃を常に受けている」

「本日、麻薬密売人のアルバロ・ウリベとイバン・ドゥケがコントロールするボゴタの「Semana」という週刊誌はアモロソ代表がベネズエラから逃げたと報じた(実際のところ、最初に本件を報じたのは Miami Herald)」

「麻薬密売の共犯者の Vicky Dávila よ (Semana の編集長)。あなた方は引き続きフェイクニュースを報じ続け、我々は真実を伝え続ける」「選挙当局のエルビス・アモロソは引き続き役割を全うする」

と言及した。

「野党 米州機構で大統領選の勝利を主張」

10月15日 野党グループ「Comando Con Vzla」の Gustavo Silva 氏は、ワシントンの「米州機構(OAS)」本部で登壇。ゴンサレス候補が当選したとの結果を説明した。

発表に先立ち、野党側は「OAS にて我々が大統領選に勝利した証拠を提示する」と述べていた。実際の説明内容は確認できていないが、報道を見る限り、新しい情報は無く、公開済みの投票レシートを改めて説明したとの印象を受ける。メディアの扱いも小さく、そこまで大きな影響はなさそうだ。



(写真) @ConVzlaComando

「国連調査団 人道に対する罪の可能性を指摘」

10月15日 国連のベネズエラ独立調査委員会は、7月28日の大統領選に関連するマドゥロ政権の一連の対応について、「マドゥロ政権が人道に対する罪を犯していると認識するに足る材料がある」との見解を表明した。

具体的には、野党政治家への迫害、抗議行動の抑圧など。

独立調査委員会が発表した報告書には、2023年9月1日～24年8月31日までに起きた出来事が158ページにわたり記載されているという。

報告書では、特に「SEBIN、DGCIM、ボリバル国家防衛隊、国家警察らが反政府勢力を抑圧する組織として活動している」と指摘している。

経 済

「ConocoPhillips 他の債権者への対抗訴訟

～自社の債権回収優先権を主張～」

「ConocoPhillips」は、米国デラウェア州裁判所にて、米国ニューヨーク、テキサス州などで裁判を起こしているベネズエラ政府の債権者らに対抗するための裁判を起こした。

CITGOの株式を100%保有する「PDV Holdings」の競売は、デラウェア州裁判所の仕切りで行われており、デラウェア州裁判所はベネズエラ政府・PDVSAに債権を抱えている18社(総額213億ドル)に対して、PDV Holdingsの競売で債権を回収する権利を認めている。

しかし、「Siemens Energy Inc」、「Gramercy Distressed Opportunity Fund」「G&A Strategic」「Girard Street Investments」などニューヨーク・テキサス州などデラウェア州以外の裁判所で訴訟を起こしている債権者が現れており、彼らもPDV Holdingsの競売からの債権回収を模索している(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1128](#)」)。

この状況を受けて、「ConocoPhillips」は他の債権者に先駆けて、自社の債権回収権を確保するために訴えを起こしているようだ。

「TOYOTA エアバック交換 抽選で新車当選」

「[ベネズエラ・トゥデイ No.1062](#)」でも紹介したが、「TOYOTA de Venezuela」は、対象6車種(Corolla(2003-15)、Yaris(2006-09)、Fortuner(2006-12)、Hilux(2006-19)、4Runner(2015-16)、Etios(2017))のエアバックを完全無料で交換している。

また、該当の車の所有者はエアバックの交換を行うと、Yarisの新車が当選する可能性がある。当選者は以下の4台のうちの1台をもらうことができるという。

同キャンペーンの実施期間は2024年10月9日～12月31日まで。



(写真) TOYOTA de Venezuela Instagram

以上